

平成 25 年 6 月 4 日

平成 25 年度農林水産省の熱中症に対する取組 (案)

農林水産省では、農作業中の熱中症事故防止に向けて、7月の「熱中症予防強化月間」にあわせて、農業者へ熱中症の予防のための留意点等を周知するため、下記の取組を行う。

また、業界紙や農林水産省メールマガジン等の様々なツールを活用して、幅広く周知を行う。

■ 各都道府県への通知の発出

熱中症の予防のための下記留意点について、各都道府県に対し農業者への周知を図るよう通知を発出する。本年度は7月の月間の実施にあわせて通知を発出し、全国で行われる農業者が集まる集会及び行事等での周知、チラシの配布等を実施するよう各都道府県に依頼する。

- ・ 日中の気温の高い時間帯を避けて作業を行うこと
- ・ 特にビニールハウスでの作業は気を付けること
- ・ 熱中症になりにくい服装をすること
- ・ 屋内の作業場などでは温度が上がりすぎないようにすること

■ 「熱中症予防声かけプロジェクト」との連携

熱中症予防声かけプロジェクトと連携してポスターおよびチラシを作成し、7月の月間にあわせて行政機関や JA、民間企業などに配布する。チラシの裏には熱中症予防チェックシートを掲載し、農業者への啓発を促す。ポスターとチラシは農林水産省のホームページに掲載する。

(参考) 熱中症予防声かけプロジェクトは、官民が連携して熱中症予防の声かけの和を広げる取組。実行委員に環境省が参画。

24生産第1051号

平成24年7月5日

各地方農政局生産部長
内閣府沖縄総合事務局農林水産部長
北海道農政事務所農政推進部長

殿

農林水産省生産局農産部技術普及課長

農作業中の熱中症に対する指導の徹底について

農作業中の熱中症事故は毎年発生しており、特に気温の高い7月及び8月に事故が多く発生しているところです。気象庁が発表している3ヶ月予報での今夏の平均気温は、北日本では平年並みとされていますが、東日本、西日本及び沖縄・奄美では平年並みまたは平年より高いとされており、農作業時の熱中症対策が重要となっています。

熱中症は、梅雨明け後の蒸し暑い日など、身体が暑さに慣れていない時に起こりやすい傾向があることから、今後の暑熱環境下での作業は特に注意が必要です。

つきましては、農業者のほ場や施設内での熱中症による事故を防止するため、「農作業安全のための指針（平成14年3月29日付け13生産第10312号農林水産省生産局長通知）」に基づき、暑熱環境下での作業について、特に下記事項に留意するとともに、農林水産省が作成したリーフレットの活用や気象庁が発表する「高温注意情報」及び「高温に関する気象情報」などにも留意し、熱中症に対して十分な対策をとるよう貴管内都道府県への指導をお願いします。

記

暑熱環境への対応

夏場等の暑熱環境下での作業は、熱中症（熱射病、熱けいれん、熱まひ）を生じるおそれがあるので、次の事項に注意すること。

ア 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行うとともに、休憩をこまめにとり、作業時間を短くする等作業時間の工夫を行うこと。水分をこまめに摂取し、汗で失われた水分を十分に補給すること。

気温が著しく高くなりやすいハウス等の施設内での作業中については、特に気を付けること。

イ 帽子の着用や、汗を発散しやすい服装をすること。

作業場所には日よけを設ける等できるだけ日陰で作業するように努めること。

ウ 屋内では遮光や断熱材の施工等により、作業施設内の温度が著しく上がらないようにするとともに、風通しをよくし、室内の換気に努めること。

作業施設内に熱源がある場合には、熱源と作業者との間隔を空けるか断熱材で隔離し、加熱された空気は屋外に排気すること。

(参考)

○農林水産省ホームページ（農作業安全対策関連）

「農作業安全の指針」、「農作業中の熱中症に注意しましょう！（リーフレット）」を掲載。

http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/index.html

○気象庁熱中症関連サイト

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/netsu.html>

○熱中症予防声かけプロジェクトホームページ

企業及び行政等と連携して、ポスター、チラシ及びインターネットなど様々なコミュニケーションツールで熱中症予防を国民に呼びかける運動を展開。本年は農林水産省も本運動と連携し、ポスター及びチラシを作成し、現場への周知を図る。

<http://www.hitosuzumi.jp/>

農作業時の熱中症に注意しましょう

熱中症は、適切な対策を取れば防ぐことができます。
お互いに声をかけあって、熱中症を予防しましょう。



天気予報と 体調をチェック

- 急に暑くなる日は要注意です。
- 体調不良時は、無理をしないように。



涼しい服装・安全な 作業環境

- 日差しを遮り汗を逃がしやすい服装で。
- 作業はできる限り二人以上で。建屋の中でも風通し良く。



こまめな水分補給 こまめな休憩

- 喉が渇く前に、こまめに水を飲みましょう。
- こまめに涼しい場所で休憩しましょう。



高齢者は要注意！



高齢者は若者に比べると、暑さや喉の渇きも感じにくくなっています。
周囲の人も積極的に声をかけましょう。



熱中症になってしまったら

- 涼しい場所に避難させる
- 衣服を脱がせ、身体を冷やす
- 水分を補給する
- 自力で水を飲めない、意識がない場合は、直ちに救助隊を要請しましょう

みんなで声をかけあって、
熱中症を予防しよう！



ひと涼みしよう

熱中症予防 声かけプロジェクト



熱中症を
予防する
5つの
声かけ



飲み物を持ち歩こう



休憩をとろう



声をかけ合おう



栄養をとろう



温度に気をくばろう

ひと涼み

検索

<http://hitosuzumi.jp/>

農林水産省

農林水産省は熱中症予防声かけプロジェクトに参加しています。



農林水産省は農作業中の事故防止に取り組んでいます！

農水省 農作業安全

検索

http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen

農作業時の熱中症予防チェックシート

チェックしてくま!



- 天気や気温を確認しましたか？**
出かける前にならず天気予報を確認しましょう。急に暑くなる日は熱中症の危険が高くなります。梅雨明け直後は要注意です。風が弱い日や、湿度が高い日は熱中症にかかりやすくなります。
- 体調は万全ですか？**
体調不良(二日酔い・寝不足・風邪気味)の時は熱中症の危険が高くなります。作業時間を減らす、負荷の軽い作業にする、作業をとりやめるなど、無理をしないように。
- 朝ごはんは食べましたか？**
朝食で取るべき栄養分と水分をきちんと取りましょう。規則正しい食事は熱中症を防ぐことにもつながります。
- 涼しい服装を選んでいますか？**
服装は、日差しを遮り、汗を逃がしやすいものを着ましょう。綿や麻などの自然素材、スポーツウエアなどの吸汗・速乾性に優れた素材の服がオススメです。
- 日差しを遮る帽子はありますか？**
つばの広い帽子をかぶり、直射日光を遮りましょう。忘れたら、面倒でも取りに帰ることが身を守ることにつながります。
- 飲み物は持ちましたか？**
水分補給をこまめにしましょう。特に高齢者は水分不足や暑さを感じにくくなっているため、喉が渇く前に積極的に給水しましょう。大量に汗をかく場合は、塩分も補いましょう。
- 二人以上での作業ですか？**
一人で作業中に熱中症になると、助けてくれる人がおらず重症化するおそれがあります。できる限り二人以上で作業をし、体調不良時は我慢せず不調を伝えましょう。
- 作業場所は熱がこもりませんか？**
ハウスや畜舎など気温が上昇しやすい施設内での作業は、風通しをよくしましょう。室内の換気をして、熱がこもらないようにしましょう。
- 作業計画に無理はありませんか？**
涼しい時間帯に作業をしましょう。もし暑い時間帯に作業するときは、休憩をこまめに、作業時間を短くなどの工夫を。また、作業初日からの無理は禁物です。
- 緊急連絡先を知っていますか？**
いざというときのため、緊急連絡先を持ち歩きましょう。具合が悪くなったら無理せず、医療機関にかかりましょう。